

事業番号	15 05 04	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	グローバル人材育成事業費				担当課	部局	教育委員会事務局
総合5か年計画	プロジェクト	8-4-2 教育再生プロジェクト		課・局・室	教学指導課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成		E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	4-2 信州創生を担う人材の確保・育成		実施期間	H26 ~		
	施策展開	2-(3) 知の集積と教育の充実 イ 未来の信州を担う子どもたちの教育の充実 (ア) 多様な教育の推進					

1 事業の概要

目指す姿	グローバル時代に対応した、信州に根ざし世界に通じる人材を育成するため、児童生徒に、世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力の向上を図る。											
現状 (予算編成時)	英語コミュニケーション能力: 中学3年卒業時で3級レベル 33.2% 高校3年卒業時で準2級レベル 35.0% (H26)											
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 児童生徒が世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力の育成は、小・中・高を通じて取り組むべき施策であり、県が当該事業を実施することは必要不可欠である。SGH設置事業では、専門知識を有する民間人を運営指導委員とし、意見を事業運営に反映させている。また、発信力育成プログラムでは、海外の大学生を講師に招くなど、外部有識者と協働して取り組んでいる。									
	県民との協働による実施: 実施中											
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)											
	英語コミュニケーション能力: 中学3年卒業時で3級レベル 36.0% 高校3年卒業時で準2級レベル 38.0% (H28) Can-Doリストで学習到達目標を公開する学校数: 30校											
	② 事業内容 (単位: 千円)											
	項目		実施方法	H28事業実績		H28	H29					
					(当初)	(決算)	(当初)					
	スーパーグローバルハイスクール (SGH) 設置事業		直接	SGH指定校の取組支援、SGH運営指導委員会	30,007	16,997	27,068					
発信力育成プログラム		直接補助金	発信力育成講座 (上田アカデミア、グローバルマインド育成講座) 高校生の留学促進事業、グローバル語り部派遣事業 補助金交付先 (県内高校生39名)	10,845	6,352	8,978						
外国語教育充実支援事業		直接	中高連携推進モデル研究開発事業、小学校英語モデル研究開発事業、英語教育教員研修推進事業、外国語指導助手 (ALT) 配置事業	197,848	192,982	197,751						
小布施サマースクール2016事業		直接	「小布施サマースクール2016」の主催、運営	0	3,935	6,402						
			合計	238,700	220,266	240,199						
事業コスト	区 分 (単位: 千円)			27年度			28年度			29年度		
	予算額	前年度繰越										
		当初予算			239,995	238,700	240,199					
		補正予算			-12,096	-5,573						
		合計 (A)			227,899	233,127	240,199					
	Aの財源	一般財源			193,230	195,705	194,940					
		県債										
		国庫支出金			34,038	36,765	44,729					
		その他			631	657	530					
	決算額 (B)			220,537	220,266							
概算人件費	職員数 (人)			1.00	1.00	1.00						
	概算人件費 (C)			8,276	7,914	7,914						
概算事業費 (B(A)+C)			228,813	228,180	248,113							
成果目標の達成状況												
			項目	H26末	H27末	H28			H29			
						目標	成果	達成状況	目標			
			中学3年卒業時に英検3級レベルを有する割合	33.2%	33.7%	36.0%	31.0%	未達成	40.0%			
			高校卒業時に英検準2級レベルを有する割合	35.0%	34.4%	38.0%	35.5%	未達成	40.0%			
			Can-Doリストで学習到達目標を公開する学校数 (高校)	37校	70校	30校	70校	達成	82校			
目標に対する成果の状況			<ul style="list-style-type: none"> 生徒の英語力は平成27年度と比べて全国的にやや低下した。この原因はH28年度から英検の採点基準が変更され、4技能が等しく評価されるようになったことに伴うものと考えられる。英語力の養成においては、これらの4技能をバランス良く習得していくことが必要である。 CAN-DOリスト形式の学習到達目標については、各校とも概ね作成は完了しつつある。今後は各校の目指す到達目標の公開に向け、準備を進めていく段階となる。 									

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、目標達成のために、各校での授業改善を進め、生徒の4技能5領域のバランスのとれた英語力の養成が急務となる。県教育委員会としては、授業改善の支援として先進的な取組や効果的な指導法の周知を推進し、生徒の英語力の向上を図る。 各校のCAN-DOリスト形式の学習到達目標については、H29年度以降の公表を目指し、各校への支援を進めていく。